

おはようございます。最初に先週に私立の一般入試、公立高校の推薦入試結果が出ました。これだけの3年生が合格しました。私学は専願29名、併願は96名も合格しました。公立高校推薦はこれだけです。私学の専願29名と公立推薦合格の43名、計72名の進路が決定した人はほんとに良かったおめでとうです。しかし、残念だった人、気を落とさず3月入試があります！切り替えて下さい。まだ、未定の人もあります。決まった3年生は残りの日々生活を考えて下さい。

さて、3学期も1、2年生はあと1ヶ月、3年生は卒業まで3週間弱ですね。3学期は、1月は往く、2月は逃げる、3月は去るとよく言ったものです。早いですね。こうしたあわただしい時であるからこそ、しっかりした目標をもって、しっかりしたまとめをし、しっかりした自分を作って次に向かっていかなくてはなりません。今日は、そういう意味で鎌倉時代に浄土真宗を開いた親鸞という偉いお坊さんの詠んだ和歌を紹介したいと思います。

「明日ありと 思う心の あだ桜 夜半に嵐の 吹かぬものかは」という和歌です。

この和歌の直接的な意味は、「美しく咲いた桜の花を、明日見所と思っていたが、夜中のうちに大きな嵐が吹いて、桜の花はみんな散ってしまい、花見を楽しもうとした計画は、はかない露ときえてしまった」と言うことですが、本当の意味は「明日は、当てにならないもの、やろうと考えたことややらなければならないことは、きっちり今やらなければならない」ということを私たちに教えてくれています。

もっと、言えば「明日がある、明後日があると思っているうちは、何も出来ない。皆さんの中に「明日やればいい」と言って、先延ばしにしていることはないでしょうか？ 「もう少し落ち着いたら、新しいことを考えよう」「もう少し落ち着いたら、改善に取り掛かろう」「もう少し落ち着いたら、勉強を始めよう」と言って先延ばしし、結局なにも手をつけられなかった今までの生活を改め、これからは「今を精一杯生きる」ことを目標に、今やるべき事は今やる！何事も先送りせず取り組む生活を送りたいものです。

さあ、今週は水曜日から最後のテストがあります。それが終われば卒業式… 来年度に向かって急速に動いていきます。春はもうそこまで来ていますから気を緩めることなく日々の生活を過ごすことを期待してお話を終わります。